



# 記者手帳

廃プラにとって原油価格は、重要な意味を持つ指標のひとつだ。

アジア指標となる中東産下バイ原油が4カ月ぶりとなる。3月23日、1㇁50㇁台に乗せた。石油輸出国機構(OPEC)が原油の需給を改善するために昨秋から取り組んできた減産目標を順守することが実を結んだためといわれる。

最高値まで達した原油価格が、同じく12月に40㇁の最安値を記録するなどジョットコースターのような乱高下を見せた。基本的な原油のような資源に、投機目的で資金がつき込まれ

逆に超下落についていくことができない日本国内の廃プラのスクラップ事業者は店をたたむケースが後を絶たなかった。両極端に振れることで、経営者の舵取りは困難を極めてい

## 「50ドル」の意味

い。温暖化対策で、自然エネルギーなどの活用が広まり、地下資源の利用が少なくなるとの見方もある。

それにしても昨年7月に1㇁(158㇁・9㇁)147㇁の

た結果だ。結局、一た。

原油価格は、プラ

アル利用が促進されるという。

大部分の廃プラの物流費用と破砕や洗浄、整粒、混合などコンパウンドのための費用が再生樹脂の建値(メーカー渡し値)を下回れば、廃プラは、マテリアル利用して価値が生まれる。そのポーターラインが「50ドル」辺りという訳だ。

循環型社会を構築するためには、再資源化に関係する企業が事業を続けることが大切になってくる。原油に投機目的で資金をつき込むことは、つまるところリサイクルの流れを壊す。(渡)